

## 浮島校区まちづくり懇談会 開催結果報告書

開催日時 平成26年8月12日(火) 19:00～20:30  
場所 浮島公民館  
参加者数 男42人 女7人 合計49人



### 1. 連合自治会共通の市政課題

事例報告名 ( 浮島校区のコミュニティの強化について )

報告・発表・討議等の内容 (要約)

(報告) 岡部浮島自治会長

浮島校区連合自治会では、これまでコミュニティの強化を図るため、校区住民による防災訓練の実施や小学校と地域住民との合同運動会を毎年開催し、子どもたちを地域ぐるみで支え、地域の絆を深める取り組みを行ってきた。

また、小学校の空き教室を地域のボランティア活動のために開放してくれたり、地域住民が児童の登下校を見守る「まもるくんパトロール」活動が地域にしっかりと根付いていることも、地域コミュニティの強化や児童の安全安心に大変寄与していると考えている。

このように、浮島校区においては、懸命に地域コミュニティの強化に取り組んできており、「地域住民全体で浮島小学校児童を見守っていく」という機運が大変高まっていると自負しているが、一方で、近年の浮島小学校の児童数は減少傾向にあり、その主な原因として、本来であれば浮島小学校に通うはずの多くの児童が近隣の大規模小学校に通学校を変更しているという実態がある。

昨年度も議題として取り上げたが、松の木地区では、浮島小学校区でありながら多くの

児童が高津小学校に通学し、同様に浮島地区でも、少人数学校を敬遠してか垣生小学校に通学している児童も少なくない。

特に浮島小学校の児童は、中学生になれば、松の木地区は東中、浮島地区は川東中に通学するという特殊事情があり、「中学生になったときのことを考え、小学生のときから多くの友達をつくらせておきたい」という親の意思が働いているものと思われる。

浮島校区では、居住地はそのまま浮島小学校に隣接する小学校に通う児童総数が異常に増えており、このような世帯の方は、例えば浮島校区運動会に参加しない、公民館活動に参加しない、自治会活動に参加しない、場合によっては自治会も脱退する等々、地域コミュニティに著しい弊害をもたらしている。

小学校は教育施設であると同時に地域における象徴的な文化施設であり、地域住民のよりどころとなる機能を有している施設でもある。したがって、児童数の減少だけで安易に統廃合をしてしまうと、これまで長年の歳月をかけて築いてきた地域コミュニティ（浮島校区連合自治会）が一瞬で崩壊し、取り返しのつかないことになると思うがいかがでしょうか。

また、浮島校区の地域コミュニティを守り育てるためには、隣接小学校の一定地区の児童を、浮島小学校に通わせる等の措置も必要ではないかと思うがいかがでしょうか。

教育委員会にお聞きしますが、本来であれば浮島小学校に通うべき児童が隣接の小学校を希望し、教育委員会が許可してきた総数は異常であると思うが、それを承知で今後も同じ許可対応を継続するのでしょうか。

また、現在児童が通っている市内17校区の小学校の統廃合問題について、将来的にどのように考えているのか。具体的に浮島小学校の将来像をどのように考えているのか。今後、浮島小学校の児童数の減少対策として、通学区域の変更等有効な対策を検討されているのか伺いたい。

#### (回答) 市長

浮島小学校の児童数減少の件については、昭和25年に高津小学校から分離したときの校区設定が現在も影響しているのではないかと思います。

それに加え、平成17年に通学距離が近い学校へ通学できるよう改正したことから、ますます松の木の子どもが高津小学校へ入学する結果になり、平成22年に通学距離が1.5km以内では校区を変更できないと改めた次第である。

しかし、現在も松の木地区から高津小学校に通う児童が多い現状だが、兄弟が卒業する数年後には、改善していくと思われる。また、児童数が減少したということで直ちに浮島小学校の統廃合は考えていないが、少子化が進む中ではいずれそういう日が来るかもしれない。

また、地域コミュニティより、まずは子どもの方が大事であると考えているので、今後、子どもが一番という観点で、地域の方々ともお互い知恵を出し合いながら協議していきたい。

**(回答)** 教育長

指定学校の変更は、転居・転入等の理由、保護者の就労その他家庭の理由、地理・地域的な理由、教育上の配慮等により許可を行っている。

浮島小学校の今年度の新入学児童については、21人が他の小学校へ変更し、他の校区からの入学者を合わせて22人が入学した。

就学する学校は住所地により指定されており、指定学校を変更する場合には規則に基づいた申請が必要となっている。浮島小学校においては他の校区に属する自治会の一部が浮島小学校区となっていることから、それを理由として他の校区の学校へ変更する方が多くなっている。また、両親共働き家庭で放課後は祖父母に預けるという理由で、他の学校へ変更する方も多く見られる。

松の木地区が浮島校区でありながら高津小学校へ多くの児童が通っているという実態は、高津小学校の方が近いという理由で高津小学校への就学を認めていた平成22年度以前の経緯があり、兄姉が高津小学校に在学している場合、その弟妹は指定外の小学校へ就学できることとしているので、今すぐに状況が変わるものではないが、徐々に弟、妹が減っていくと思われるので、しばらくは経過を見ながら現状の把握をしたいと考えている。

また、自治会活動の理由による変更については、今後自治会等への確認作業を行いたいと考えている。

統廃合については、大島小学校も5年間地域で検討し閉校の決定をした。学校は地域の拠点であることから、地域の方々の意見も十分伺っていく必要があると考えている。

**(意見)** 松の木自治会、北岡さん

現在、松の木地区からは高津小学校へ43人、浮島小学校へは5人通学していると聞いており、これでは自治会活動も思うように行かず、愛護会も解散しコミュニティ活動ができない状況にある。

今でも安易に松の木地区から高津小学校への通学を認めていると聞いた事があるが、もっと厳格な運用をお願いしたい。

**(質問)** 浮島自治会、石村さん

松の木地区は、通学距離1.5kmの範囲では浮島、高津どちらに入るのか。

**(回答)** 教育長

松の木地区は浮島小学校から1.5km以内であることから浮島校区である。

**(意見)** 岡部浮島自治会長

現在問題となっているのは、在校生のうち何人が松の木地区から高津小学校へ通っているかということもあり、今後本当に改善していくのか自治会として心配している。

**(質問)** 浮島自治会、石村さん

高津小学校に通っている43人の学年別の内訳資料はないのか。

**(回答)** 教育長

本日はその資料を持っていないため、今後この件について協議を行う際に提出をした

い。

**(質問)** 浮島自治会、永易さん

中学校区の弾力化を廃止する件について経緯を伺いたい。

**(回答)** 教育長

中学校区の弾力化については、主に部活動の理由で始めた経緯があり、隣接した中学校への入学を許可してきた。しかし、当初対象者が20人くらいだったものが、ここ数年特定の学校に希望者が集中するようになり様々な弊害が出てきている。そのため見直しを検討し、9月の市政だよりで詳しい内容を掲載予定である。

\*今後この課題について、教育委員会、自治会、PTA等の関係者で継続して話し合っていくきたいとの司会者からの提案が了承された。

\*松の木地区の小学生の内訳

その後の学校教育課の資料により、現在松の木地区の小学生は44人、内訳は浮島6人、高津35人、神郷3人となっている。

再検討事項

なし

## 2. 校区の課題

課題名 ( 道路の拡張について )

質疑応答 (要約)

**(質問)** 松の木自治会、北岡さん

松の木公園東側の隅部分について、カーブミラーの設置にもかかわらず交通事故の発生につながるヒヤリ事故が毎年数件発生している。

その対策として、公園東側の隅部分を削ることで見通しもよくなり、交通事故の可能性も減少すると思われるので対応をお願いしたい。

**(回答)** 建設部長

松の木公園東側の隅部分は、三差路交差点で、すぐ南側に曲がり角がある若干変則の交差点となっているが、隅切りを大きくすると、南側の角が曲がりやすくなる分、車両が今まで以上に速い速度で交差点に進入するようになり、事故の可能性が高まることから、隅切りは現状のままの方が良いと思われる。

見通しの改善については、曲がり角付近にある公園内の樹木が見通しを遮っているため、公園管理者と協議し、公園の樹木を良好に剪定管理することで見通しの改善を図る。

※ 再検討事項

なし

課題名 ( 水路蓋設置施工要望について )

質疑応答 (要約)

**(質問)** 浮島自治会、堀田さん

平成24年に要望している案件だが、八幡一丁目18番南側道路には、幅71センチ、深さ74センチの水路があり、現在蓋がかかってない。通学路、通勤路によく利用されており、住宅も密集していて子どもの姿もよく見受けられる。安全面、環境面からもぜひ水路に蓋の設置をお願いしたい。

**(回答)** 建設部長

市道下原浮島線の北側にある水路については、垣生土地改良区が管理する水路で、土地改良区に地元の蓋かけ要望への協力をお願いしたところ、了解をいただけたが、現地を確認したところ、一部水路上にカーポートの屋根や松等植木の枝が出ているところがあり、水路に蓋をかけて車両が通った場合、これらに接触する恐れがあるので、現状のままでは施工できないので、まず、地元調整をお願いしたい。

※ 再検討事項

なし

### 3. その他

過去の主要な地域課題の状況報告（浮島小学校西側通学路の雨水管渠の改修計画）についての質疑に対して、次の回答があった。

**(回答)** 環境部長

長年ご要望いただいている浮島小学校西側通学路雨水施設については、宇高東雨水支線と呼んでおり全長370メートルを北側から約3年かけて整備をする計画となっている。

この事業の財源は国の交付金を充てる予定となっており、昨年度の時点では、平成26年度着工予定であったが、今年度、国の予算配分が十分得られなかったことから、現在進行中の工事を優先せざるをえず平成27年度着工の予定となっている。

**(質問)** 岡部浮島自治会長

この案件については数年来要望をし続け、昨年12月に東日本大震災の関係で国からの予算削減という理由で、自治会として平成25年度の着工延期を了承し平成26年から事業実施とお答えをいただいていたが、また工事着工が伸びるのか。

**(回答)** 環境部長

この事業の財源には国の交付金を充当する予定だが、昨年に引き続き今年度についても要望に対し7～8割の額だったことから、継続中の工事や前年度の未施工箇所を優先せざるを得なくなった。平成27年度に着手できるよう今後も予算の確保に努める。

**(質問)** 岡部浮島自治会長

国の交付金が要望の7割しかなかったということだが、最近の気象状況から全国で水害が発生しており今後も交付金の削減が予想され、また工事の着工が遅れてしまうのではないか。自治会としては、確実な予定を立ててもらわないと納得ができない。

**(回答)** 環境部長

来年絶対着工をと言えないが、ご要望に添えるよう頑張る。

**(質問)** 岡部浮島自治会長

なぜ強く要望するかというと、海岸線に沿う水路があり、高低差で海へ排水する門が詰まっており、沢津の排水ポンプが唯一の排水手段となっている。そのため大量の雨が降ると、小学校西側付近がよく水に浸かる。一刻も早く着工をお願いしたい。

**(回答)** 環境部長

海側の水門については、風の影響で砂により埋まることがあるが、こちらについてもなるべく早く対応したいと思う。

**(質問)** 岡部浮島自治会長

砂により水門が埋もれる件だが、近年潮の流れが変わり砂の動きが変わっていることから、何らかの対策が必要になってきている。

**(回答)** 環境部長

まずは、調査を行い対策していく。

**(質問)** 浮島自治会、石村さん

新居浜市では雨水管渠は約50ミリ/時間に対応した設計と聞いているが、昨今のゲリラ豪雨等の状況から基準を上げる必要があるのではないか。

**(回答)** 環境部長

確率の問題であり、費用対効果の関係からも、約50ミリ/時間に対応した設計、施工を行っている。ご理解をいただきたい。

**(質問)** 浮島自治会、石村さん

東京などでは雨量の基準を切り上げて見直しを図っている自治体もあることから、状況に応じた対応をお願いしたい。

**(回答)** 環境部長

現時点では、現在の基準で全ての地区で水害が出ないよう対策を進める予定である。

**(質問)** 岡部浮島自治会長

浮島、松の木地区は海に近いことから南の地区からの雨水が全て流れてくる。そういう面からも一層の対策をお願いしたい。

**(回答)** 環境部長

承知しました。